

富士市立神戸小学校

学校だより2月号

令和3年2月1日

# 燃える神戸っ子

学校教育目標

「つながろう やりぬこう」

令和2年度重点目標

「あいさついっぱい やさしさいっぱい」

## やさしさいっぱいの神戸小学校を目指して

学校だより9月号で、今年の本校の重点目標を『あいさついっぱい やさしさいっぱい』とし、そこに込められた思いについて説明させていただきました。

おかげさまで、「あいさつ」については、児童会がスローガンを『目指せ全力3（トリプル）スター すすんであいさつ・やさしい心・チャレンジ』とし、6年生を中心に様々な取り組みを行ってくれたこともあり、少しずつあいさつの響く学校となってきています。学校評価においても、「学校でも地域でも進んであいさつをしている」の項目において、[そう思う][だいたいそう思う]と回答した割合が、昨年と比較して**児童**77.9% ⇒ 89.2%、**保護者**79.0% ⇒ 84.0%と高くなっています。ただ、「家庭や地域ではまだ不十分を感じる」との声も多いので、今後の課題としていきたいと思えます。

では、「やさしさ」についてはどうでしょうか。本校の子どもたちは素直で、素朴で、純粋。そして男女仲良く、心優しい子が多いと思えます。これは我々教員の共通認識です。素晴らしい子どもたちとともに、授業をはじめ様々な取り組みができる幸せを心から感じています。

ただし、年明けに実施したアンケートからは、何人もの子どもたちが友達とのトラブルに苦しんでいたり、悩みを誰にも打ち明けられず困っていたりしていることが分かりました。その後アンケートに記入のあるなしにかかわらず、全員の子どもたちに聞き取りを行う等、子どもたちの不安解消に全力を挙げて取り組んでいます。

学校は全ての子ども、そして保護者の皆様にとって安心して生活できる場所、送り出せる場所でなければなりません。今後も今回のようなアンケートや教育相談等を通して、子どもの思いを聞き取ったり、トラブルの早期解決を図ったりと、子どもたちが安心して生活できる学校づくりに取り組んでいきます。

ご家庭でも(いつもと違うな)(悩みがあるようだ)(口数が減った)等、何かお気づきになりましたら、遠慮なく担任もしくは学校(21-2192)までお知らせください。

話はかわりますが、11月の朝礼で、「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」について話をしました。「ふわふわ言葉」は、言われると心がうれしく明るくなる言葉。「ちくちく言葉」は、言われると心が悲しくなってしまう言葉です。子どもたちには、「ちくちく言葉をなくしてふわふわ言葉を増やそうね。そうすると神戸小学校がやさしさいっぱいのもっと素敵な学校になるよ。そんな学校を目指して行こうね。」と伝えました。

これから、神戸小学校は「ふわふわ言葉」にあふれた優しい学校をめざしていきます。ぜひご家庭内でも「ふわふわ言葉」が増えるようにしてもらえるとありがたいです。そうして家庭と学校が力を合わせて「あいさついっぱい やさしさいっぱい」の学校を目指して行きましょう。よろしくお願いいたします。

ちくちく  
言葉

- ・ばか ・あほ
- ・しね ・うざい
- ・きもい ・くさい
- ・ちかよるな ・あっちいけ

言われたく  
ない言葉      言いたく  
ない言葉

かなしくなってしまう

ふわふわ  
言葉

- ・ありがとう・ごめんね
- ・たすかったよ
- ・ともだちだよ
- ・だいじょうぶ・すごいね
- ・うれしいな
- ・なかよしだね

心がうれしくあかるくなる